Nintendo Switch 電源と音量ボタンボードの交換

このガイドを使って、Nintendo...

作成者: Blake Klein

ã“ã®æ–‡æ›¸ã¯2023-02-28 08:17:03 PM (MST)ã«ä½œæˆã•ã‚Œã¾ã—ãŸã€‚

はじめに

このガイドを使って、Nintendo Switchゲームコンソール内側に搭載された電源と音量ボタンボードを交換しましょう。

ご注意: この修理ガイドと弊社が販売するパーツは2017年に発売されたオリジナルのNintendo Switchモデルと互換性があります。モデル番号はHAC-001とHAC-001(-1)です。

ツール:

- トライポイントY00 ドライバー (1)
- JIS規格 #000ドライバー (1)
- スパッジャー (1)
- ESD 安全ピンセット(先端が鋭利でないタイプ) (1)

部品:

- Nintendo Switch Power Button Board (1)

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 1 — Joy Conコントローラーのロッキングタブを外します

作業を始める前に、デバイスの電源が切れているか必ず確認してください。

- Joy Conコントローラーの裏面上の小さな丸いボタンを押します。
- ボタンを押しながら、コントローラーを上側に向けてスライドします。

手順 2 — Joy Conコントローラーを外します

- Joy Conをスライドして、コンソールから完全に外します。

反対側のJoy Conにも同じ作業を繰り返してください。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 3 — リアパネル上のネジを外します

- Y00 ドライバーを使って、リアパネルを固定している長さ6.3mmネジを4本外します。

この修理では、各ネジの装着位置をメモ書きしてください。再組み立ての際は、正しい位置に戻してください。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 4 — 上部と下部側面のネジを外します。

- JIS000ドライバーを使って、リアパネルを固定している次のネジを外します。
- デバイスの上部側面の長さ2.5 mmネジー1本
- デバイス下部側面の長さ2.5 mmネジー2本
- このような堅いネジが潰れないようにするためには、下向きにしっかりと力を入れ、ゆっくりと回してください。もしくは別のJIS 000またはPH 000ドライバを試してみてください。

ã“ã®æ–‡æ›¸ã¯2023-02-28 08:17:03 PM (MST)ã«ä½œæˆã•ã‚Œã¾ã—ãŸã€‚

手順 5

- JIS 000ドライバーまたはiFixit公式のPH 000ドライバーを使用して、本体側面の3.8mmセンターネジ2本（左右各1本）を外します。

手順 6

- 指でデバイスの裏面のキックスタンドを持ち上げます。
  - microSDカードスロットのmicroSDカードが入っている場合は、次の作業に移る前に取り出してください。

ã“ã®æ–‡æ›¸ã¯2023-02-28 08:17:03 PM (MST)ã«ä½œæˆã•ã‚Œã¾ã—ãŸã€‚

手順 7

- JIS 000ドライバーまたはiFixit公式のPH 000ドライバーを使用して、キックスタンドウェルの1.6mmネジを取り外します。
- キックスタンドを閉じます。

手順 8

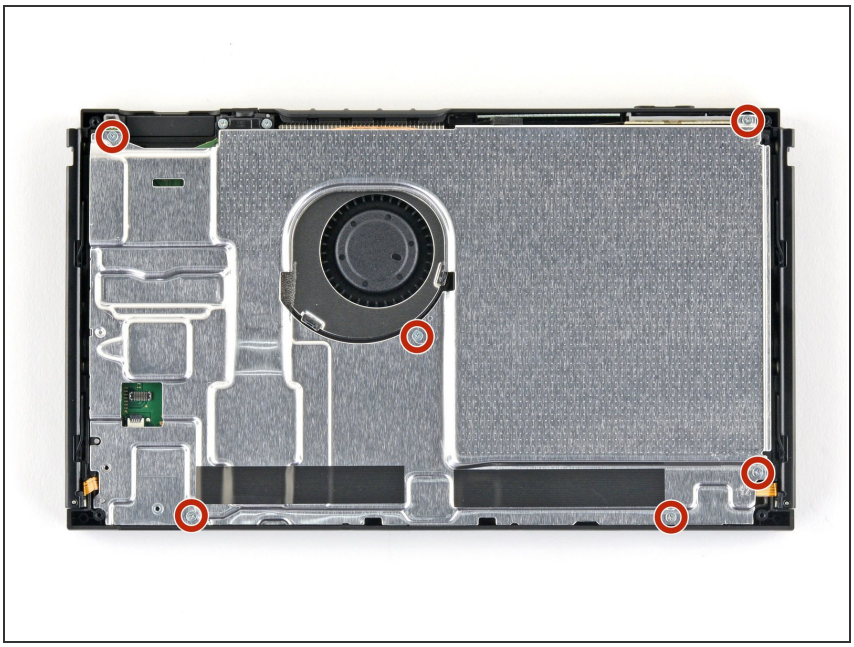
- リアパネルをデバイス下部から持ち上げて、取り出します。

ゲームカードカートリッジのフラップは、プラスチックシェルの半分に取り付けられているため、リアパネルを閉じた状態では完全に持ち上げることができません。

- リアパネルを本体底面から持ち上げて、取り外します。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 9 — シールドプレートを外します



- JIS 000ドライバーもしくはiFixitドライバーPH000を使って、デバイスにシールドプレートを固定している長さ3mmネジを6本外します。

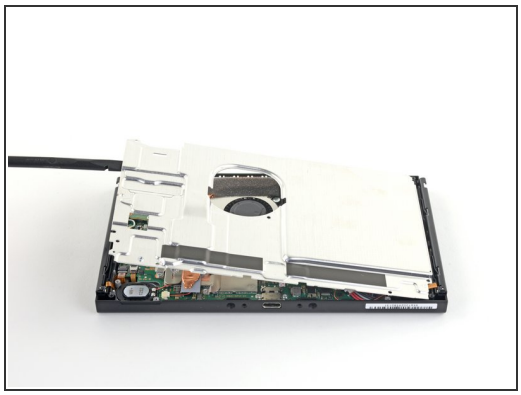
手順 10

- 指先もしくはピンセットを使って、ファンの排気ポート付近のデバイス上部端のフォームを剥がします。

⚠ フォームが簡単に剥がれない場合は、無理に剥がそうとすると破れてしまう可能性があります。慎重に場所を変えながら剥がしてください。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 11



- デバイスの端に沿ってシールドプレートの下にスパッジャーを挿入します。
- こじ上げてシールドプレートを持ち上げ、デバイスから取り外します。

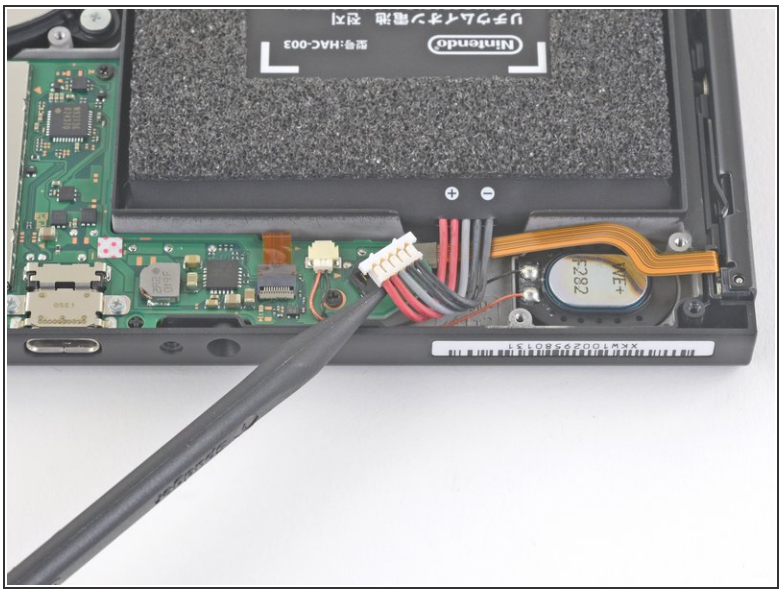
作業で抵抗感を感じることがあります。シールドプレートはヒートシンクに放熱グリスで軽く装着されているため、問題ありません。

ピンク色の厚い放熱グリスが、シールドプレートとその下のコッパー製ヒートシンクの間の隙間を埋めています。これによりSwitchのオーバーヒートを防ぐことができます。

- ピンクの放熱グリスは、注意すれば再利用できます。グリスを良い状態に保ち、再組み立ての際にヒートシンクとシールドの間にしっかりと接触すさせてください。
- 交換が必要な場合は、放熱グリスの塗布ガイドを参照して古いサーマルコンパウンドを取り除き、再組立時にK5 Proなどの適切なコンパウンドに交換します。

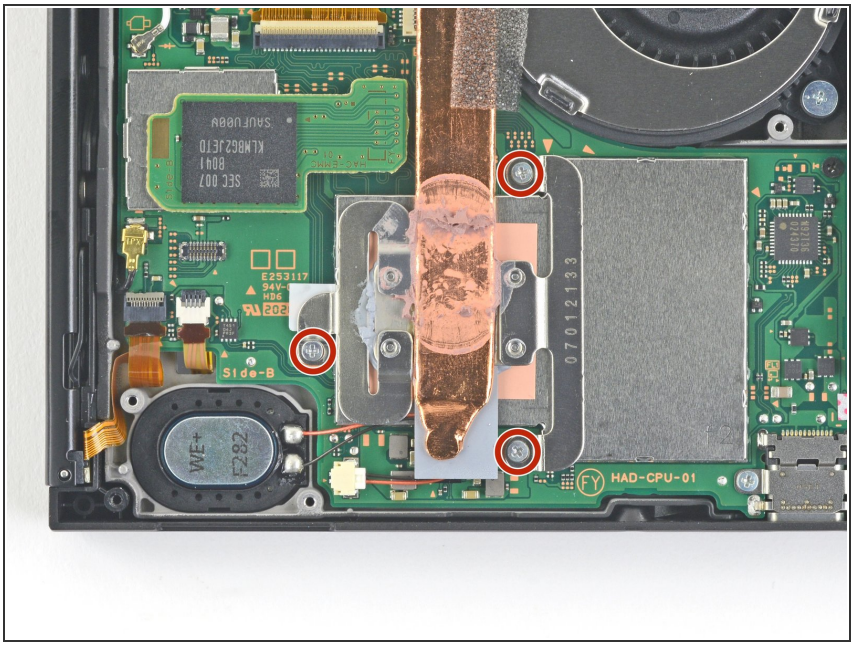
© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 12 — バッテリーの接続を外します



- スパッジャーのポイントエンドを使って、バッテリーの接続を上向きに持ち上げて、マザーボードから外します。

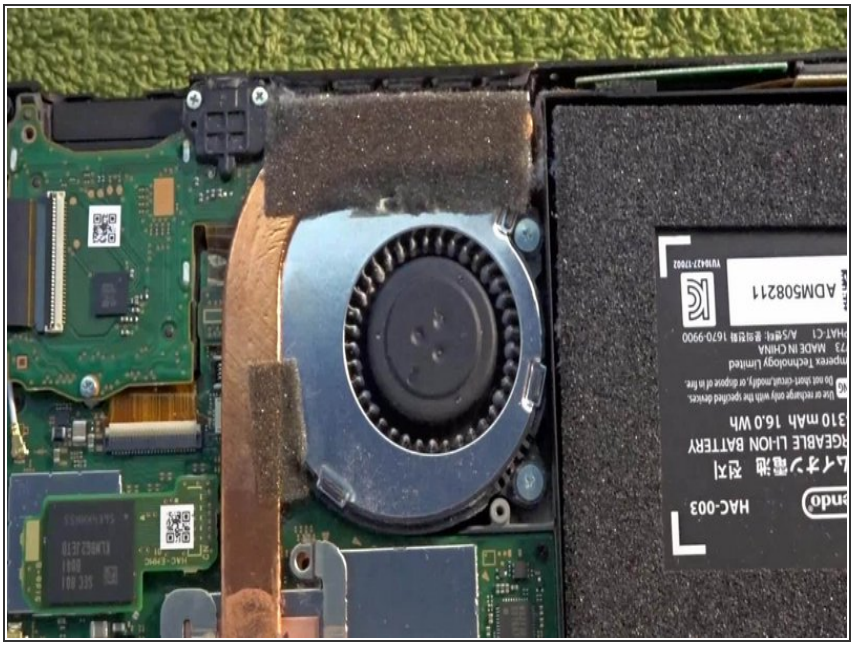
手順 13 — ヒートシンクを取り出します



- JIS 000ドライバーもしくは iFixit PH 000ドライバーを使って、ヒートシンクをマザーボードに固定している、長さ3mmネジを3本外します。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 14



- ヒートシンクとファンの両方に貼られた2枚のフォーム製スチロールを慎重に剥がしてください。

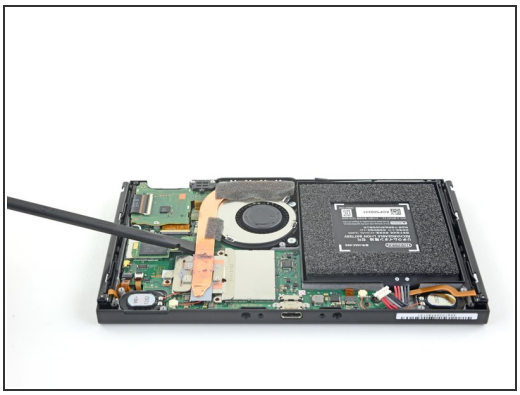
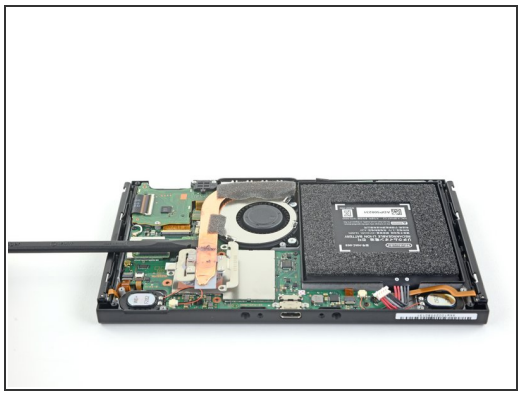
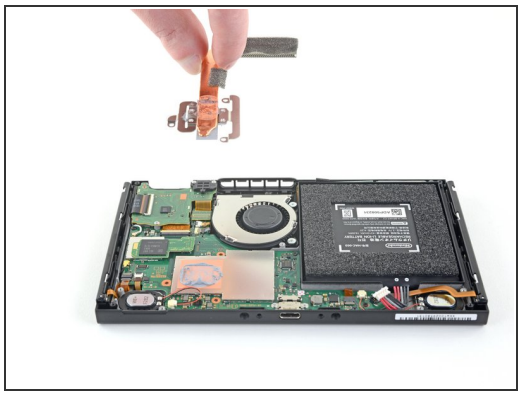
ファンをクリーニングできる程度まで、フォームを剥がしてください。

⚠ フォームはとてもデリケートで、簡単に破れてしまいます。以下の方法でフォームを剥がしてください。

- 何も装着していないフォーム部分にスパジャーの先を差し込みます。
- フォームの上部を指で押して固定します。
- スパッジャーの先端をフォーム下の反対側先端までスライドします。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 15

- スパッジャーもしくは指先で、ヒートシンクを持ち上げて、マザーボードから外します。

ヒートシンクは放熱グリスでCPUに軽く装着されているため、作業に抵抗を感じても問題ありません。

90％以上濃度のイソプロピルアルコールとマイクロファイバークロスを使って、古い放熱グリスをヒートシンクとCPUから拭き取ります。再組み立てをする前に、CPUに新しい放熱グリスを塗布してください。

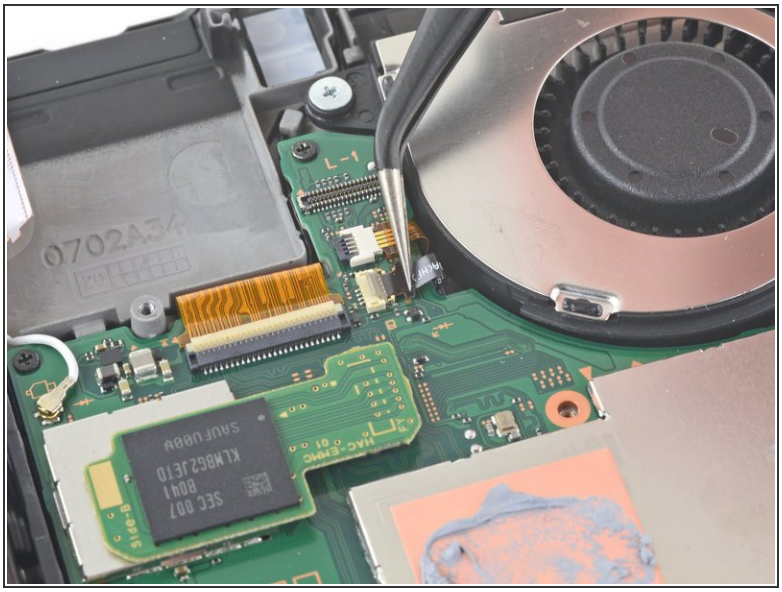
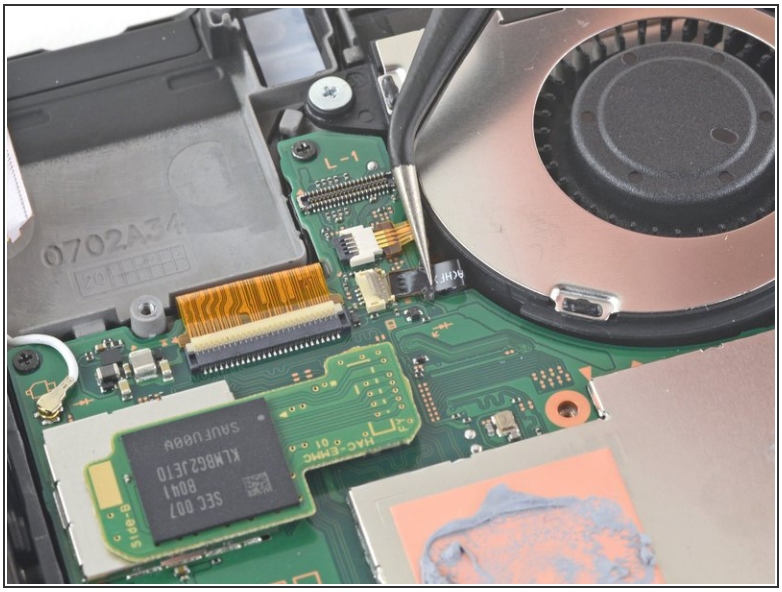
- 以前にサーマルペーストが塗布されていた全ての表面に、サーマルペースト(放熱グリス)を塗布してください。これには、ヒートパイプとアルミシールドの間も含みます。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 16 — ファンを取り出します

- 開口ツール、スパッジャーもしくは指先でファンケーブルのZIFコネクタ上のヒンジ状のロッキングフラップを持ち上げます。

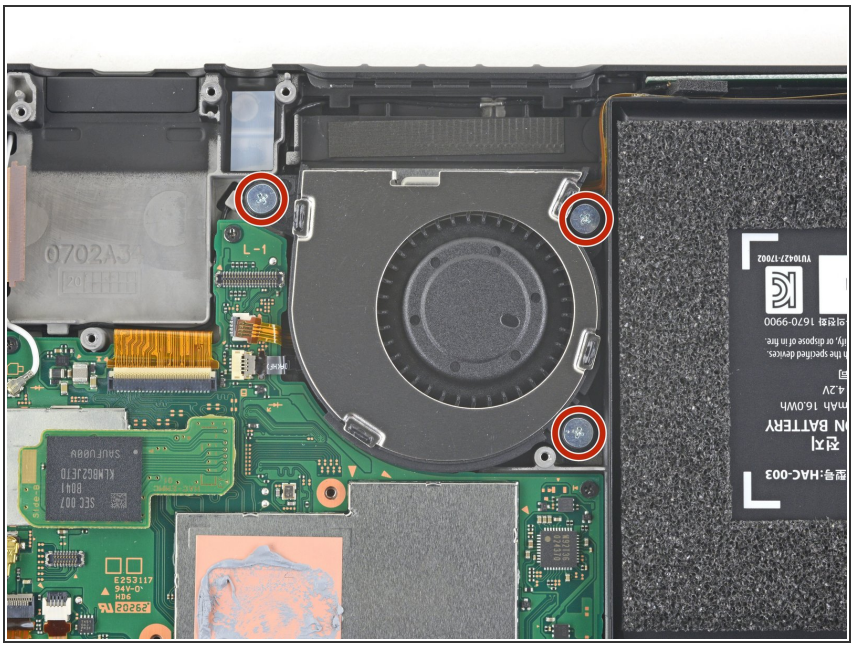
手順 17

- ピンセットを使って、マザーボード上のコネクタからまっすぐファンケーブルを引き抜きます。

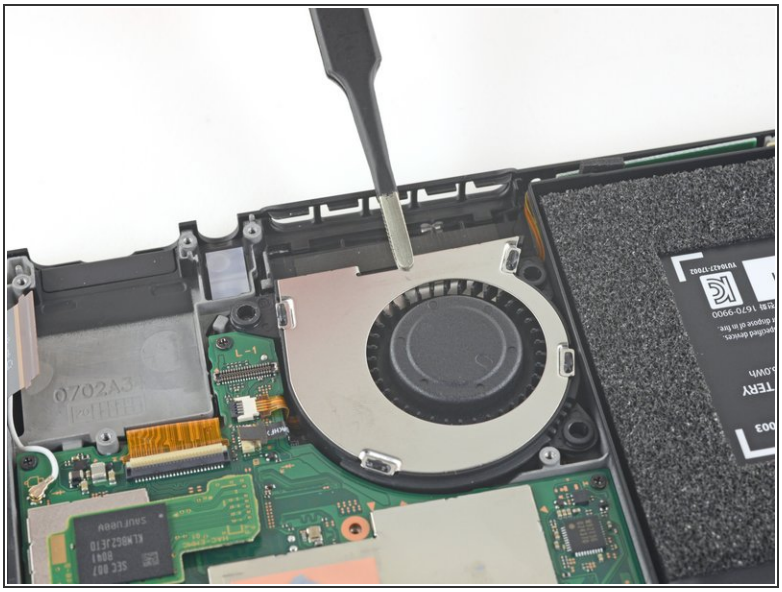
© iFixit — CC BY-NC-SA

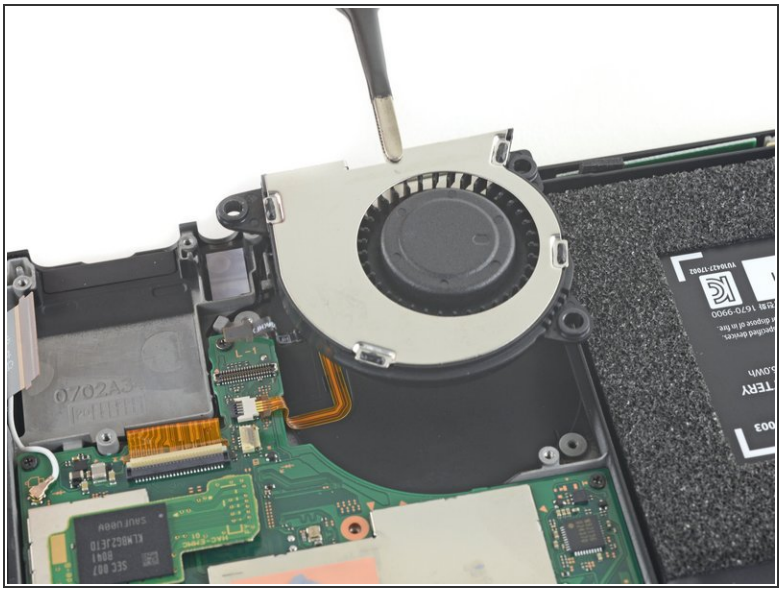
手順 18



- JIS 000ドライバーをもしくはiFixit PH 000ドライバーを使って、ファンを固定している長さ4.8mmネジを3本外します。

手順 19



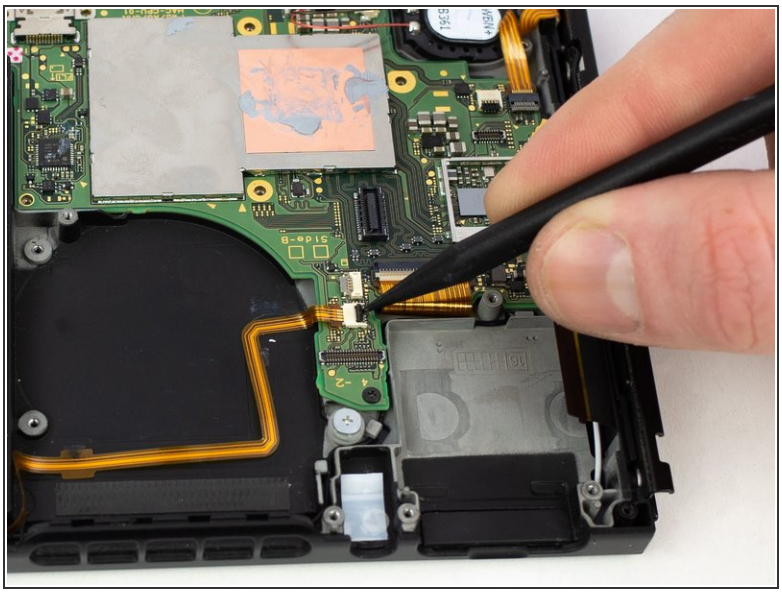


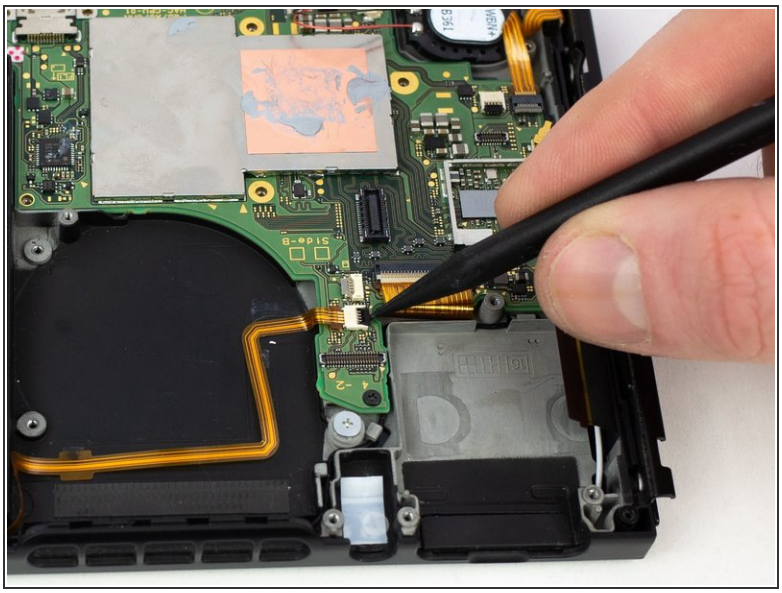
- ピンセットを使って、ファンをまっすぐ持ち上げてデバイスからファンを取り出します。

新しい交換用パーツとオリジナルのパーツを見比べてください。ラバーブッシュなどのコンポーネントを交換用パーツに移植する必要があります。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 20 — 電源と音量ボタンボード





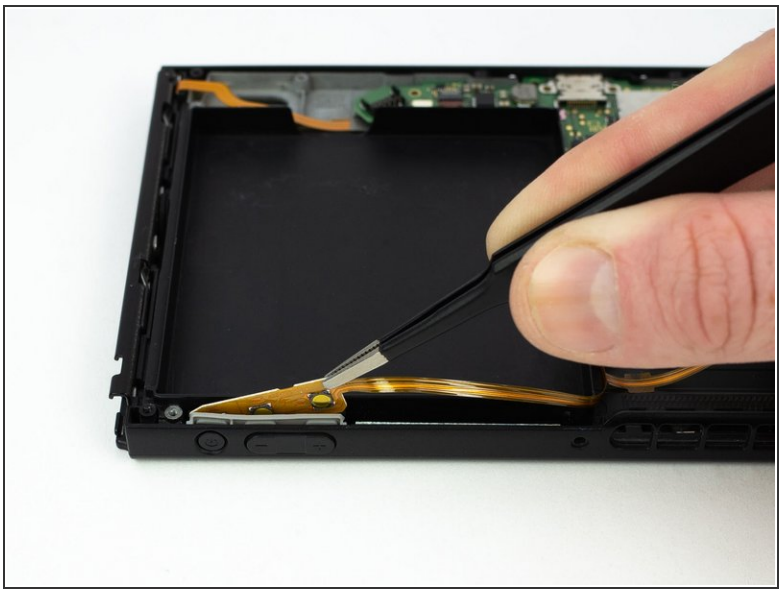
- スパッジャーを使って、電源/音量リボンケーブルのZIFコネクタ上の小サイズの黒のロッキングフラップを跳ね上げます。

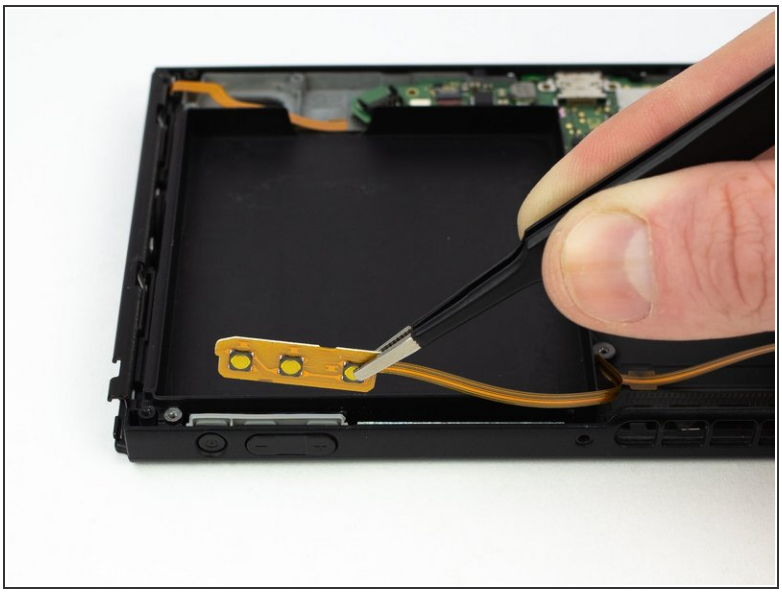
手順 21

- スパッジャーの平面側先端を使って、テープで固定された電源/ボリュームリボンケーブルをこじ開けて、接続を外します。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 22





- 先端が鋭利でないピンセットで電源/ボリューム用ボードを摘んで、取り出します。

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。

© iFixit — CC BY-NC-SA